

研究に関するお知らせ

(研究の名称：B型肝炎に関する統合的臨床ゲノムデータベースの構築を目指す研究)

2022年8月5日

国立研究開発法人国立国際医療研究センター(病院/国府台病院)肝炎・免疫研究センターでは、肝炎に関する様々な病態を明らかにするために日本全国の医療機関と連携して、患者の皆様の血液、診療に由来する生体試料、診療情報および予後情報を遺伝子解析結果と共に長期に亘って保存・管理し、多くの方について肝炎の病態と遺伝子の状況との関連を調べる研究を計画しています。

この研究は以下の条件を満たす患者さん全員を対象としたいと考えています。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究の対象となる方

B型肝炎に関する統合的臨床ゲノムデータベースの構築を目指す研究(受付番号：267、研究代表：西田奈央)、およびB型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主遺伝因子の探索研究(受付番号：3266、研究代表：徳永勝士)において、採血検査を行い、検体の保存に同意した方を対象としたいと考えています。

■ご協力頂く内容

上記の研究で使用した血液の残りから得た生体試料(ゲノムDNA、血漿、血清、患者肝組織)と、遺伝子情報及び診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報厳重に保護した状態で行います。

採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■研究の概要

研究課題名：B型肝炎に関する統合的臨床ゲノムデータベースの構築を目指す研究

研究期間：倫理審査委員会承認後から2025年3月31日まで

実施責任者：国立国際医療センター・ゲノム医科学プロジェクト 西田 奈央

日本全国から収集する生体試料、遺伝子情報、診療情報を用いて統計解析を実施することで、疾患の発症リスク診断や予後予測のアルゴリズムの構築を目指します。また、発症リスクの診断結果や予後予測の結果を臨床の現場(担当医師、患者)と共有するためのシステム構築を目指します。

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

ゲノム医科学プロジェクト プロジェクト長 溝上雅史(047-372-3501)